

生涯教育研修会報告書

学発番号 第11-024号

日時：平成23年7月29日（金）19:00～20:30

場所：京都保健衛生専門学校 視聴覚教室

主題：抗菌薬の体内動態と基礎知識

講師：小阪 直史 先生

講師所属：京都府立医科大学薬剤部 感染対策部

報告者：山田 幸司

所属：京都府立医科大学 臨床検査部

分類：20点

全体参加人数：30人

京臨技のみ所属会員参加人数：

以下、講演内容など

抗菌薬が投与されると吸収、分布、代謝、排泄の過程を通る。薬物が体内に入る主な経路は経口投与と注射であるが、どちらも循環血流中に入り作用する臓器に到達してその効果を発揮する。抗菌薬が臓器に到達するためには抗菌薬の分子量、血漿蛋白結合率など臓器移行性を考慮しなければならない。抗菌薬の臓器移行性をバンコマイシンの肺炎の治療を例に解説された。また、23年6月に製造承認されたダプトマイシンの用法用量がどのようにして決められたか海外の文献を紹介すると共に、我々検査技師が常にこれらの新しい薬剤に対する耐性菌の誕生を監視することの重要性も提示された。

（ 報告者 山田幸司 ）